

群馬

群馬における産業保健関連学部学生実習

群馬産業保健総合支援センター 副所長 西谷 慶子

群馬産業保健総合支援センター（以下「当センター」）は前橋市内の中心にある県庁近くの県医師会などが入居している群馬メディカルセンター内に事務所を置いています。群馬メディカルセンター内にある会議室を利用して学生実習を開催していますので、その学生実習について紹介します。

平成16年ごろ、群馬大学医学部医学科の元公衆衛生学教授の鈴木庄亮先生のご紹介で、群馬大学医学部医学科の学生の受入れが始まりました。現在は、群馬大学、上武大学、群馬医療福祉大学、桐生大学の合計4大学から学生実習の依頼があります。

はじめに、産業保健専門職が実習の概要を説明した後に、群馬県の労働行政と労働安全衛生法についての講義を副所長が行います。安全衛生管理体制について、監督指導のなか、よくある法令違反等事業場の実態を踏まえて説明を行います。厚生労働省作成の「これってあり?～まんがが知って役立つ労働法Q&A～」を使用して、働き始める前に知っておきたいこと、働くときのルール、仕事を辞めさせられるとき、辞めるとき、働くルールである労働法を説明します。

当センターの活動についての講義は、労働衛生専門職が行います。当センターでは、産業保健スタッフ向けのサービス、産業保健に関する研修、専門的な相談への対応などの支援を行っていること、地域産業保健センターにおいては、産業医の選任義務のない小規模事業者に対して、健康診断の結果や労働者の健康管理に関しての相談、メンタルヘルスの相談を行うこと等、学生に対し当センターの役割を理解してもらうことを目



▲学生実習の様子

的とした講義です。今後、学生が社会で活躍される際、当センターの活用に繋げて欲しいという希望も込めて講義を行っています。

産業看護職の活動についての講義は、産業保健専門職が行います。労働者の治療と仕事の両立支援として、当センターでは、行政や医療機関等と連携・協働して治療と仕事の両立支援の普及促進等を行っていますが、①産業保健専門職は、患者である労働者や事業者からの申し出に応じ、その両立支援がスムーズに進むような支援(個別調整支援)をする役割があること、②両立支援に当たっては、労働者と信頼関係を構築することが不可欠であること等、実際の両立支援業務、具体的事例を踏まえて説明を行います。

午後に、産業保健セミナーを聴講します。昨年度、学生が受講したセミナーは、「感染症対策」等でした。

今後も、次世代を担う学生に、当センターの役割を理解してもらい、将来、彼らが企業で活躍する際には当センターの事業を活用してもらえよう継続して学生実習に取り組み、地域における産業保健活動の活性化に繋げていきたいと思っています。

メンタルヘルス対策の普及促進に向けた 取組強化について

宮崎産業保健総合支援センター 副所長 木村 剛

九州の南東部に位置する宮崎県は、県のキャッチフレーズ「日本のひなた宮崎県」に象徴されるように、温暖な気候に恵まれ、特に日照時間や快晴日数は全国トップクラスを誇っています。このような気候から、プロ野球やJリーグの春のキャンプ地としても有名ですが、特に今年はWBCの侍ジャパンのキャンプ地にもなっていましたので、キャンプ期間中は県の内外からファンが殺到し、例年になく大変な賑わいでした。

このような温暖な気候を利用し、農業や畜産業などの第一次産業が盛んですが、最近ではマンゴーや宮崎牛などの高級特産品が全国的にも知られているところです。また、あまり知られていませんが、宮崎県は面積の75.5%が森林で、日本有数の林業県でもあり、特にスギ素材の生産量は31年連続日本一で、現在もその記録を更新中です。

とにかく温暖で明るいイメージの宮崎県ですが、非常に意外で、残念なのは自殺率の高さです。人口10万人当たりの自殺者数が令和4年は全国3位で、過去10年間で見ても平成29年以外は常に10位以内に入っている状況にあります。理由については諸説ありますが、いまだ誰もが納得できるような理由が示されていないというのが実情です。

だからという訳でもないのですが、宮崎産業保健総合支援センターでは、「メンタルヘルス対策の普及促進活動」をセンター事業の重点事項として取組みを強化し



▲海岸線の一風景

ているところです。特に今年度からは、メンタルヘルス対策が進んでいない事業場への支援強化の一環として、毎月、初心者向けのWEB研修会を開催しています。「メンタルヘルス担当者研修会」の名称で、「メンタルヘルス対策入門編」「はじめての社内研修（全労働者対象）」「はじめての社内研修（管理監督者対象）」の3部構成になっていますが、月1回の開催で、この3種類の研修を毎月順番に開催するようなシリーズ形式を取っています。ですから、すべて受けていただくのに3カ月かかりますが、メンタルヘルス対策の基礎的な内容から始まり、最終的にはメンタルヘルス担当者が自分で社内研修を実施するためのノウハウまで学んでいただける内容となっています。ただ、この研修を受講しただけでは、「まだ一度も社内研修を受けたことがなく、そもそも社内研修の雰囲気すらわからない」と不安を感じる受講者もいると思われるので、受講者からの希望があれば、研修後にメンタルヘルスの専門家を社内研修の講師として派遣し、一社につき一度限りですが、社内研修を実際に体験していただくといったサービスも同時に行っています。いずれも今年度から始めたばかりのサービスなので、どのように進んでいくかわかりませんが、一社でも多くメンタルヘルス対策を導入する会社が増え、また毎年あたり前のようにメンタルヘルスの社内研修が行われる会社が増えることを期待するところです。



▲宮崎産業保健総合支援センター HP